



平成 29 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 夢 展 望 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 濱 中 眞 紀 夫  
(コード：3185 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 田 中 啓 晴  
(TEL. 072-761-9293)

### 債務超過の猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成 29 年 3 月期において、債務超過となったことから、株式会社東京証券取引所が本日発表したとおり、有価証券上場規程第 603 条第 1 項第 3 号本文の規程に基づき、上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日）

2. 債務超過に至った経緯

当社は、20 代から 30 代前半の若い女性をターゲットとして、EC 通販に特化したアパレル企業として事業を行ってまいりましたが、円安の進行やトレンドの変化、さらには競争環境の激化といった要因もあり、平成 26 年 9 月期に業績が大幅に悪化し、その後も業績不振から脱却できない状態が続き、平成 28 年 3 月期において連結債務超過の状態に陥りました。平成 29 年 3 月期におきましては、平成 27 年 3 月より R I Z A P グループ株式会社の傘下に入り進めてきた抜本的な改革の効果が表れはじめ、下半期においては営業黒字を達成するまでに回復してまいりましたが、債務超過を解消するまでには至らず、当連結会計年度末純資産が 432 百万円の債務超過となりました。

3. 猶予期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

4. 今後の見通し

当社は、平成 27 年 3 月に R I Z A P グループ株式会社の傘下に入り、その後抜本的な改革を推し進めてまいりました。具体的には、中核事業である衣料品販売事業において、ブランド戦略、MD、商品企画、販売戦略、コスト構造などあらゆる観点において見直しを行い、トレンドミックス系ブランドの再編及びそれに基づく MD 体制・商品企画体制の強化、商品の仕入・発注戦略の転換等、商品面に関する各種施策に加え、販売面に関しても、販売上位商品への集中的訴求、店舗毎の顧客層に応じた商品展開、WEB 広告の強化、EC システム刷新によるユーザビリティの向上等、販売力の強化に関する施策を推し進めてまいりました。さらに物流倉庫施設の移転による物流業務の効率化その他による販売費及び一般管理費の圧縮等を進めるなど、業績回復に向けた利益体質への転換を図ってまいり

ました。その結果、平成 29 年 3 月期の下半期においては営業黒字を計上するまでに至りませんでした。

今期に入ってから、業績は前期比を上回るペースで推移しており、また、M&Aによる債権評価益等もあり、今期第 1 四半期連結会計期間（2017 年 4 月 1 日～2017 年 6 月 30 日）において当社グループの連結債務超過は解消見込みです。

以上